

水原商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 水原商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

- 平成28年7月～平成28年12月
(調査時点 平成28年12月1日)

(3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	5	16.7%	5	16.7%
建設業	5	16.7%	5	16.7%
卸・小売業	12	40.0%	12	40.0%
サービス業	8	26.7%	8	26.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

売上高、採算については「減少」「悪化」、仕入単価は「不変」が最も多く、昨年の調査と同様の水準で推移している。また、販売単価、資金繰りは、前年同期比、前期比で「不変」が多いが、今後の見通しで「低下」「悪化」が多くなり今後の見通しに対する不安がうかがえる。景況判断では全ての項目で「悪化」が最も多く、景気低迷が続いていると思われる。経営上の問題点は昨年の調査と同様「需要の停滞」が最も多かった。

【後継者の状況】

昨年の調査と同様、半数以上の事業所で後継者「あり」だった。

後継者 あり	18事業所	60.0%
後継者 なし	12事業所	40.0%

【売上高】

昨年の調査と同様、全ての項目で「減少」が最も多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
6	8	16	6	6	18	3	9	18

【採算】

前年同期比は「不変」と「悪化」がほぼ同水準であったが、前期比及び今後の見通しでは「悪化」が最も多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	13	14	3	9	18	3	10	17

【仕入単価】

全ての項目で「不変」が最も多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
10	14	6	10	15	5	9	16	5

【販売（客）単価】

前年同期比では「不変」が多く、前期比で「不変」と「低下」が同数、今後の見通しでは「低下」が最も多く、販売単価は低下の傾向で推移している。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
2	17	11	4	13	13	4	11	15

【資金繰り】

前年同期比、前期比では「不変」が最も多く、今後の見通しでは「不変」と「悪化」が同数となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
1	18	11

前期比

好転	不変	悪化
3	17	10

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	14	14

【雇用動向】

昨年と同様に、全ての項目で「不変」が最も多かった。

前年同期比

増加	不変	減少
2	23	5

前期比

増加	不変	減少
2	23	5

今後の見通し

増加	不変	減少
2	22	6

【景況判断】

全ての項目で「悪化」が最も多かった。

前年同期比

好転	不変	悪化
3	8	19

前期比

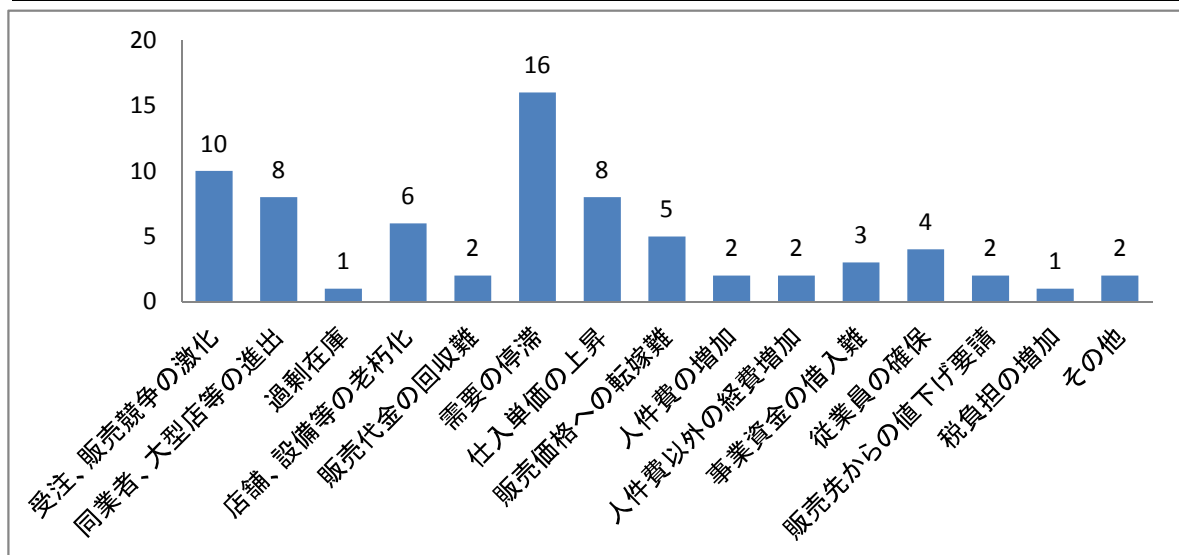
好転	不変	悪化
3	9	18

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	10	17

【経営上の問題点】

最も多い回答が「需要の停滞」、2番目に「受注、販売競争の激化」、次いで「同業者、大型店等の進出」「仕入単価の上昇」と続いている。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

売上高は、全ての項目で「減少」が最も多い。
採算は、全ての項目で「悪化」が最も多い。
仕入単価は、前年同期比で「上昇」「低下」が、前期比で「上昇」「不変」が、今後の見通しで「上昇」が最も多い。
販売単価は、全ての項目で「低下」が最も多い。
資金繰りは、前年同期比で「悪化」、前期比で「不変」、今後の見通しで「悪化」が最も多い。
雇用動向は、全ての項目で「減少」が最も多い。
景況判断は、全ての項目で「悪化」が最も多い。
経営上の問題点は、「需要の停滞」が最も多い。
今後強化したい点は、設備投資による生産量の増加があった。

(2) 建設業

売上高は、前年同期比で「増加」「不変」、前期比で「増加」、今後の見通しで「減少」が最も多い。
採算は、全ての項目で「不変」が最も多い。
仕入単価は、前年同期比で「不変」、前期比で「上昇」、今後の見通しで「上昇」「不変」が最も多い。
販売単価、資金繰り、雇用動向、景況判断は、全ての項目で「不変」が最も多い。
経営上の問題点は、全体的に分散しているが、「受注、販売競争の激化」「需要の停滞」「仕入単価の上昇」が多かった。
今後強化したい点は、ホームページによる集客、広告宣伝の強化があった。

(3) 卸・小売業

売上高は、前年同期比、前期比で「減少」、今後の見通しで「不変」が最も多い。
採算は、前年同期比、前期比で「悪化」、今後の見通しで「不変」が最も多い。
仕入単価は、全ての項目で「不変」が最も多い。
販売単価は、前年同期比、前期比で「低下」、今後の見通しで「不変」「低下」が最も多い。
資金繰りは、全ての項目で「悪化」が最も多い。
雇用動向は、全ての項目で「不変」が最も多い。
景況判断は、前年同期比、前期比で「悪化」、今後の見通しで「不変」が最も多い。
経営上の問題点は、「需要の停滞」が最も多い。
今後強化したい点は、ボランタリーチェーンへの加盟、SNSの活用などがあった。

(4) サービス業

売上高は、前年同期比で「不変」、前期比、今後の見通しで「減少」が最も多い。
採算は、前年同期比で「不変」、前期比、今後の見通しで「悪化」が最も多い。
仕入単価は、全ての項目で「不変」が最も多い。
販売単価は、前年同期比で「不変」、前期比、今後の見通しで「低下」が最も多い。
資金繰り、雇用動向は、全ての項目で「不変」が最も多い。
景況判断は、全ての項目で「悪化」が最も多い。
経営上の問題点は、「同業者、大型店等の進出」「需要の停滞」が最も多い。
今後強化したい点は、従業員の確保・育成があった。

